

令和4年度「産学連携によるリスタートプログラムの開発・実証」
オンライン学習及びオンライン検定による就職氷河期世代ビジネス教育開発実証プロジェクト

成果報告書

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、《全国経理教育協会》が実施した令和4年度「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」の成果をとりまとめたものです。

はじめに

○ 当年度の事業実施状況

就職氷河期世代の非正規雇用者、非労働力人口及び完全失業者数は 623 万人（当該人口の約 36.9%）と令和元年 11 月に内閣官房就職氷河期世代支援推進室から報告がなされた。本格的な高齢化社会を迎えようとするわが国経済にとって、働き盛り世代である就職氷河期世代の労働力は貴重な人的資源である。

わが国は 2019 年 4 月 10 日に開催された「平成 31 年第 5 回経済財政諮問会議」において、今後 3 年間程度集中的に、大学や職業訓練機関等の連携により対象者の半数の就職を安定化させる方針を示した。

そこで、本協会が検定実施する簿記、コミュニケーション・マナー、経営管理等について、オンラインによる授業システム及び当協会主催検定に基づいたカリキュラム開発による同時双方向型授業と、その効果測定としてオンラインシステムを用いたテストシステムの開発を行い、短期集中的なジョイント教育によって不本意非正規雇用や完全失業に喘ぐ就職氷河期世代に対し、ビジネス基礎教育プログラムの開発・実証実験を実施した。当協会が実施する簿記及びコミュニケーション・マナーの各試験は文部科学省から、経営管理等の試験は中小企業庁からそれぞれ後援を受けており、当該省庁の後援を受けた本協会の品質の高い検定に基づく短期集中型カリキュラムをジョイント教育により実施することで、ビジネスセンスを備えた就職氷河期世代への社会的要請に資するものと確信する。

事業最終年度である本年は、コロナ禍における新たな生活様式を見据え、昨年度調査を行ったオンラインテスト方式と記述式テストとの難易度検証及びモニタリング調査等の結果を基に事業を実施した。具体的には、就業時に必要とされる知識である簿記、経営管理、マナーの 3 科目についてオンライン講座を開催した。また、企業面接に向けた対面式の面接トレーニング講座を実施し、就業前のビジネス知識習得から面接対策まで、一貫した受講生のフォローアップを行った。更に、オンライン講座修了後、AI による不正監視システムを搭載した IBT 試験実証実験を基礎自治体 3 都市にて開催。自宅受験の実施可能性や課題について検証結果を分析し、プログラムの品質向上に向け、改善等を検証した。

○ 取組内容

1. 実施

①オンライン講座：簿記、経営管理、マナー

- ・3基礎自治体へオンライン講座受講生募集協力依頼
- ・オンライン講座実施

②オンライン講座受講生向けフォローアップ及び就職支援実施

- ・面接トレーニング講座

オンライン講座受講者を中心とし、就職氷河期世代の求職者、就職希望者、転職希望者に対し、企業面接対策として、講師による対面式の面接トレーニング講座を3都市にて実施した。

北海道北見市 令和4年11月22日（火）13時00分～16時30分

宮城県仙台市 令和4年12月10日（土）13時00分～16時30分

福岡県北九州市 令和4年11月22日（火）13時00分～16時30分

2. 検証

自宅でのオンライン試験が実施可能であるか、また、実施時の課題等検証を行うため、AIによる不正監視システムを利用した Rremoty AI 実証実験を3都市にて実施した。

北海道北見市 令和5年1月20日（金）14時00分～16時30分

福岡県北九州市 令和5年1月24日（火）10時10分～11時40分

宮城県仙台市 令和5年2月 1日（水）13時00分～15時00分

3. 改善

検証結果を分析し、プログラムの更なる品質向上に向けた基礎自治体等との産学連携による改善。